

はまぐち誠 災害対策特別委員会で質問に立つ!

皆さんの声を、国会に届ける!

熊本地震関連対策について

【CHECK!】

〔〇はまぐち誠 ⇒政府答弁〕

- 支援者の皆さんから頂戴した声を中心に、昨年の災害対策特別委員会で要望した通称“ミルクロード”への対策が実施され、**大幅な渋滞緩和や雪による通行止めが〇になる等、成果を上げました!**

【冒頭】 〇栃木県那須町の雪崩でお亡くなりになられた皆様に心から哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げます。

〔公共施設の耐震化〕

- 〇今回の地震で公共施設も被災して役割を果たせなかった。全国自治体施設の耐震化の状況は?
⇒昨年度末時点で90.9%が耐震化。うち庁舎が78.8%
- 〇庁舎を個別に見れば、5割の耐震化しか進んでいないところも。
- 〇平均ではなくそれぞれの状況・要因を掘り下げて取り組むべきだ!**
- 〇公共施設耐震化のターゲットはあるのか?
⇒時期は明確になっていない。
- 〇ターゲットがなければ、各団体の腰が入らない。期限を決めて取り組むべきだ!**



〔財政面での支援〕

- 〇熊本の復旧復興に向けて補正予算で対応するなど、取り組みは評価。
- 〇政府としての、被災地への財政支援の基本スタンスは?
⇒アンケートによると、住宅再建の目途が立たない方のうち、約半数が資金不足。こうしたことから、各種支援金や融資等の支援を行っているところ。
- 〇被災地の方に寄り添った引き続きの財政支援をお願いしたい。**

松本防災相



〔物資不足・備蓄〕

- 〇熊本地震でも家庭の備蓄が進んでいなかった。
- 〇家庭や各自治体での備蓄状況の把握、啓発活動を国としてどう取り組むのか?
⇒防災基本計画等で位置付けているが、数字はしっかりしたものではない。
国民・自治体の意識の向上が大事。民間情報誌等を監修した情報発信等で、啓発を図りたい。



〔支援物資の物流〕

- 〇支援物資をいかに円滑に避難者に届けるか、非常に重要なテーマ。
- 〇熊本地震でも、量の把握・自治体との連携などで課題があったと認識。今後の改善の取り組みは?
⇒避難所への仕分け作業や避難所までの搬送状況の把握に課題があった。
⇒課題解決のために、各種システム化や搬送については物流業者・自衛隊の方を活用した搬送方法の検討や、民間の物流業者の方々のお知恵を借りるなども検討を進めたい。
- 〇物流の世界は難しい。緊急時はプロの知恵を借りる、横展することが重要。
常にカイゼンを重ねていただきたい。**



〔住宅の被害〕

松本防災相



- 自治体の各種調査が複雑で、人工と時間がかかったという課題があったと認識。
- 一方、民間の保険会社も並行して調査を行い、混在して混乱したとも聞いている。
- 今後の取組方針は？
- ⇒可能な項目で連携し、また写真判定など簡易な手法による調査を平成29年度に検討したい。

○スピード感を持って、簡素化・効率化に向けた検討をお願いしたい！



〔避難所以外に避難された方への対応〕

- 余震が多かったこともあり、家の軒先や車内・テント内で避難生活を送っている人も多かった。
- そうすると、情報伝達や支援物資が届かない等の課題も出てくる。対応策は？
- ⇒今回の事例集を集め、優良事例等を周知して改善を図ることとしている。

〔被災者の心のケア〕

- 重要な取り組みだが、熊本県では精神医療チームの体制が整っておらず、心のケアが困難であったとの反省もある。対応策は？

⇒DPAT（専門的な研修・訓練を受けた人を被災地に派遣）が編成され、DPAT先遣隊（他県にも72時間以内に派遣）が翌日に熊本入りした。

熊本にはDPATが未整備だったが、今回の震災を契機に昨年7月から活動開始。

○全都道府県に編成するなど、引き続き心のケアを進めるための体制づくりをお願いしたい！



※その他、森友学園についても質問

熊本県の皆さんへ

はまぐち誠が国会審議で政府から回答を得た最新（3/29）の道路復旧状況

道路・地域等	状況・計画
国道57号・阿蘇大橋地区	大規模のり面崩落により現在も通行止め。
国道57号線の北側 復旧ルート	全区間で用地買収や工事用進入路の工事を進めている。 トンネル本体工事も3月10日に契約締結。工事着手の準備を進めている。
ミルクロード (県道339号線)	左折レーンの設置や冬季（対策冬用装備の啓発、集中除雪等）を実施。 ⇒左折レーン設置により、阿蘇市-大津町方面の渋滞緩和に寄与。 ⇒冬季対策により、雪による通行止めが0に。
県道熊本高森線の俵山 トンネルルート	昨年12月に国が代行して応急復旧を実施。東西方向の交通を確保。
落橋した 国道325号阿蘇大橋	全区画の用地買収・斜面の崩落に対する抑制工事を進めるとともに、阿蘇大橋の本体工事も3月16日に契約締結。工事着手の準備を進めている。
阿蘇長陽大橋を含む村道	崩落したのり面や橋梁の復旧工事を進め、今夏に応急復旧による開通を目指す。 これにより、国道325号阿蘇大橋が完成するまでの代替ルートを確保予定。

※上記内容は一部です。

是非、参議院インターネット中継(生・録画)で実際の質疑の様子をご覧ください！

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>



是非、気軽に見てください。→

